

食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、県民の皆さまの安全で安心な食生活を確保するため、「岐阜県食品安全行動基本計画」に基づき、必要な施策を実施しています。

県民の皆さまの意識や意向を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：971人（食品安全対策モニター等）

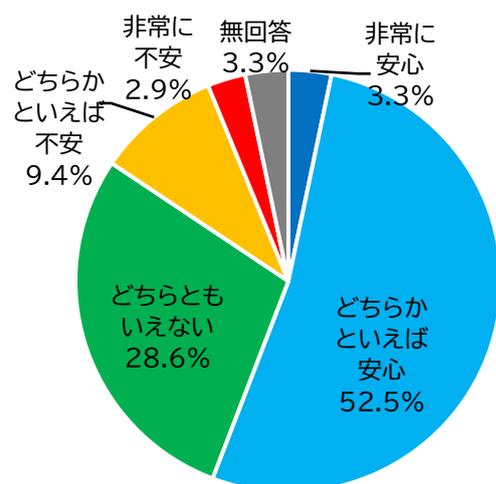
調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和7年10月14日～令和7年11月14日

回収結果：276人（回答率28.4%）

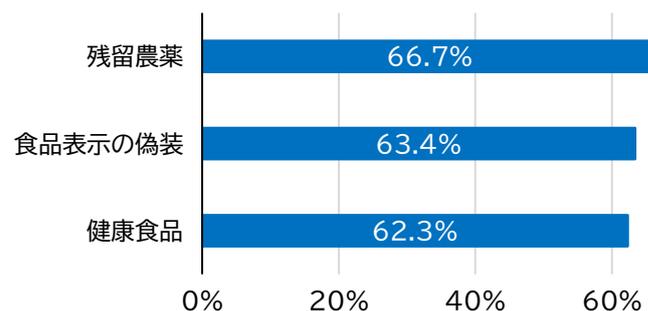
3 結果概要

【食品への安心感】

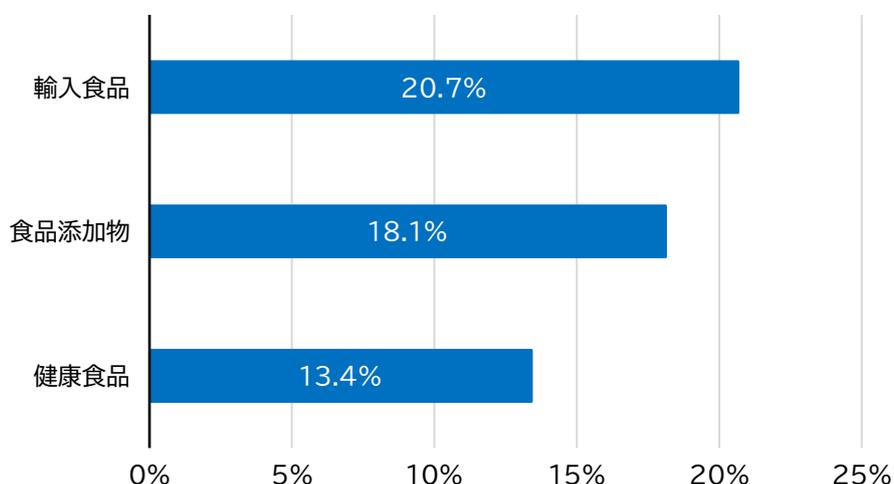


【不安に感じる項目】（上位3項目）

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の割合



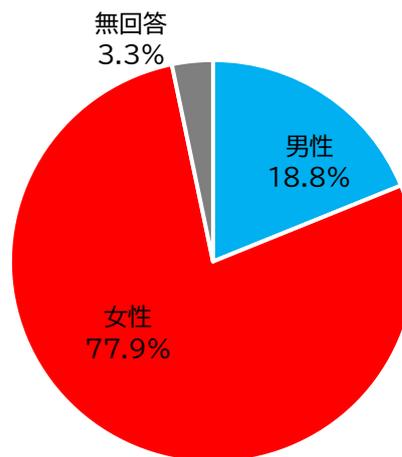
【リスクコミュニケーションで取り扱ってほしいこと】（上位3項目）



4 回答者属性

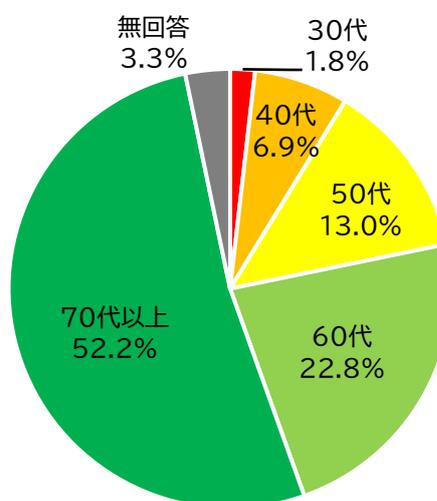
性別

	人数	割合
男性	52	18.8%
女性	215	77.9%
回答しない	0	0.0%
無回答	9	3.3%
合計	276	100%



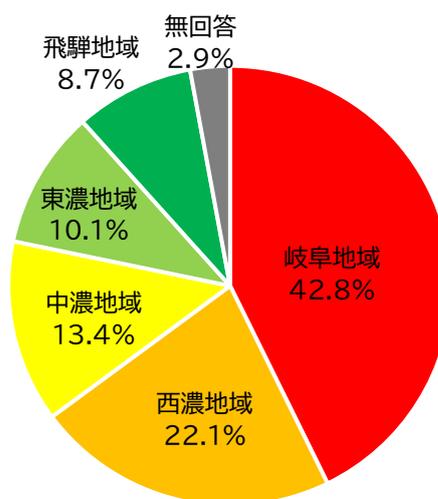
年齢別

	人数	割合
10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	5	1.8%
40代	19	6.9%
50代	36	13.0%
60代	63	22.8%
70代以上	144	52.2%
無回答	9	3.3%
合計	276	100%



居住圏域別

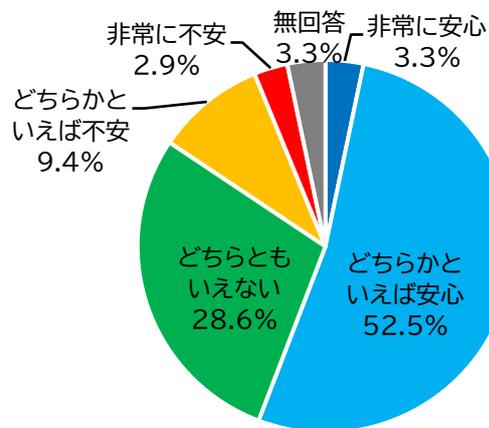
	人数	割合
岐阜	118	42.8%
西濃	61	22.1%
中濃	37	13.4%
東濃	28	10.1%
飛騨	24	8.7%
無回答	8	2.9%
合計	276	100%



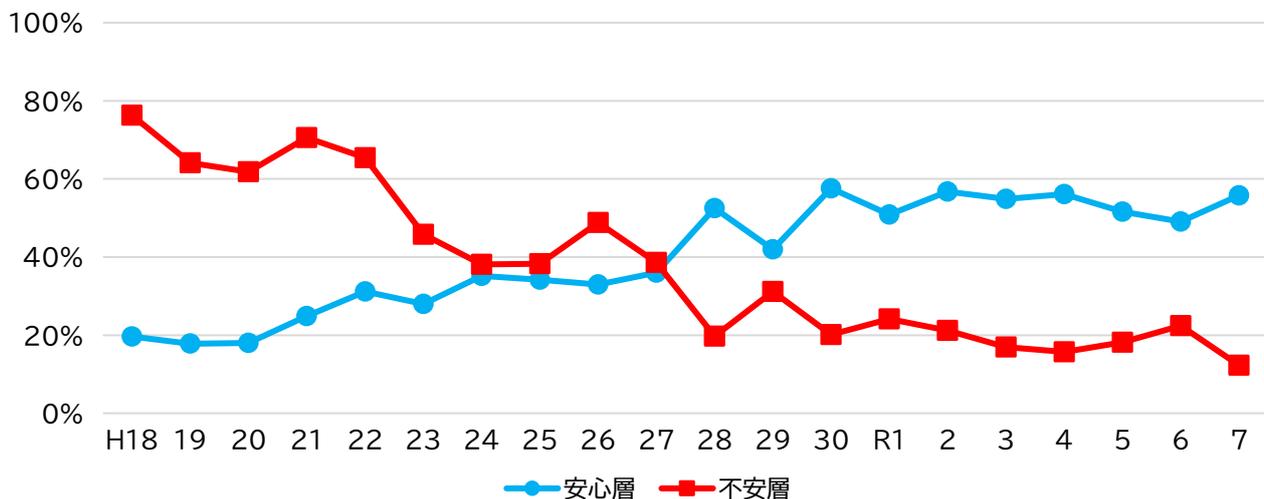
5 調査結果

問4 あなたは、普段食べている食品について、どのように思っていますか。

	人数	割合
非常に安心	9	3.3%
どちらかといえば安心	145	52.5%
どちらともいえない	79	28.6%
どちらかといえば不安	26	9.4%
非常に不安	8	2.9%
無回答	9	3.3%
合計	276	100%



【参考】平成18～令和7年までの安心感の推移



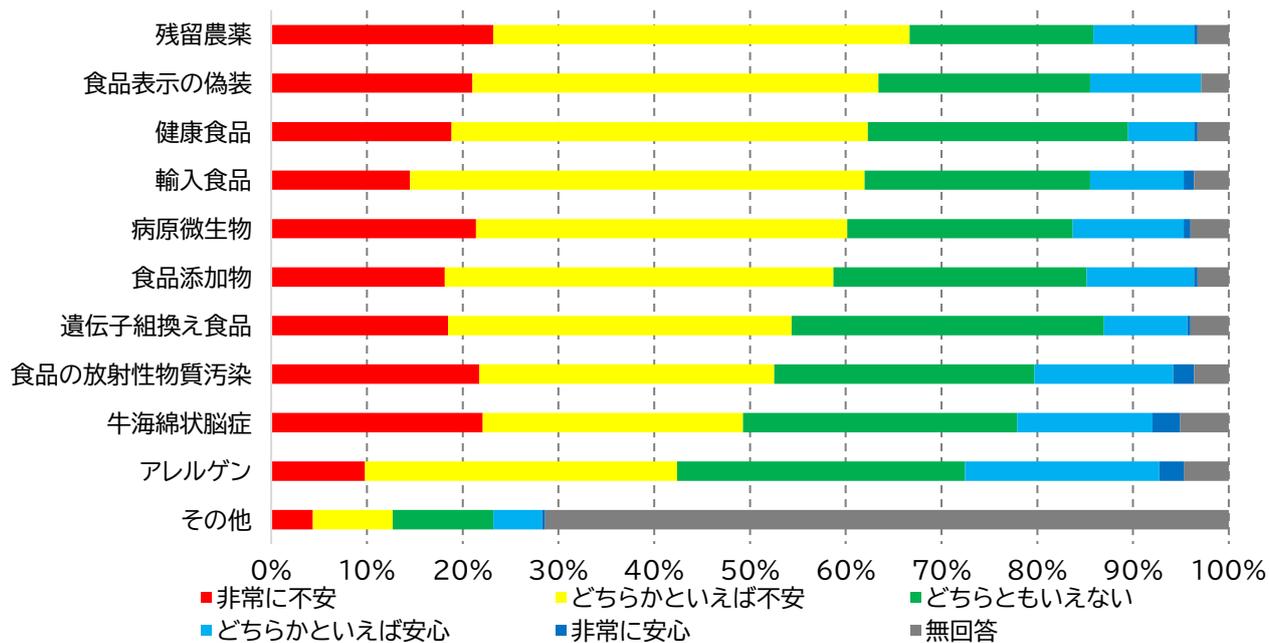
問5 各項目について、食品の安全性の観点から、あなたはどのように感じますか。

(複数回答)

(単位：人)

	非常に不安	どちらかといえば不安	どちらともいえない	どちらかといえば安心	非常に安心	無回答
残留農薬	64	120	53	29	1	9
食品表示の偽装	58	117	61	32	0	8
健康食品	52	120	75	19	1	9
輸入食品	40	131	65	27	3	10
病原微生物	59	107	65	32	2	11
食品添加物	50	112	73	31	1	9
遺伝子組換え食品	51	99	90	24	1	11
食品の放射性物質汚染	60	85	75	40	6	10
牛海綿状脳症	61	75	79	39	8	14
アレルギー	27	90	83	56	7	13
その他	12	23	29	14	1	197

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の合計が多い項目順



「その他」のうち主なもの

○非常に不安

- ・PFAS（有機フッ素化合物）
- ・マイクロプラスチックの食品への混入
- ・農薬、除草剤、洗剤、カビ取り剤

○どちらかといえば不安

- ・農薬に使用されている化学肥料
- ・外食時、担当者のビニール手袋の扱い
- ・養殖、成型加工牛肉など作ったもの
- ・ゲノム編集

○どちらともいえない

- ・自家野菜、肥料、農薬

○どちらかといえば安心

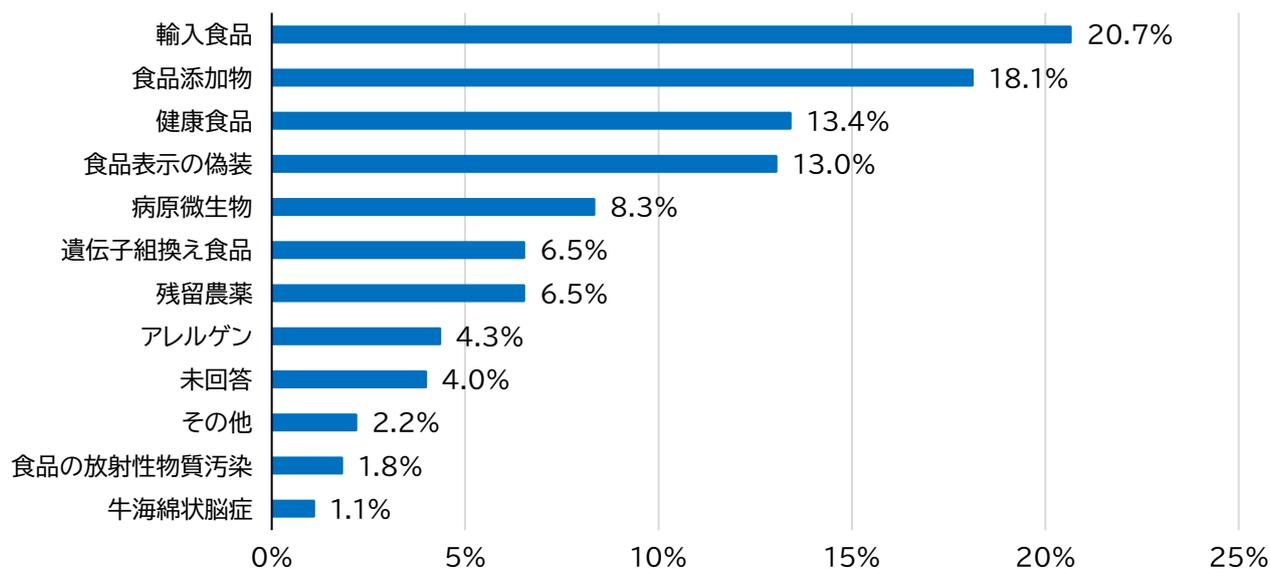
- ・栄養成分表示

○非常に安心

- ・賞味期限と消費期限の表示

問6 岐阜県では、消費者、事業者、行政の三者で情報や意見をお互いに交換する、「リスクコミュニケーション事業」を推進しています。今後、リスクコミュニケーション事業（講習会や意見交換会）で取り上げてほしいテーマについて、次の中から1つあげてください。

	人数	割合
輸入食品	57	20.7%
食品添加物	50	18.1%
健康食品	37	13.4%
食品表示の偽装	36	13.0%
病原微生物	23	8.3%
遺伝子組換え食品	18	6.5%
残留農薬	18	6.5%
アレルギー	12	4.3%
無回答	11	4.0%
その他	6	2.2%
食品の放射性物質汚染	5	1.8%
牛海綿状脳症	3	1.1%
合計	276	100%

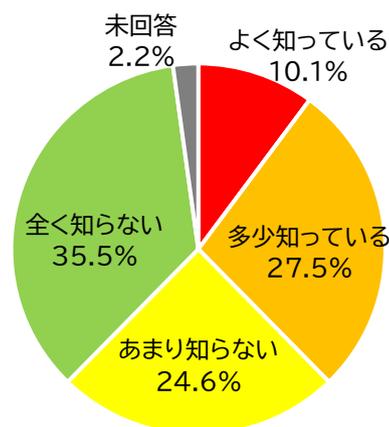


「その他」のうち主なもの

- ・栄養と疫病
- ・有機フッ素化合物（PFAS）

問7 「HACCP（ハサップ）」について知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	28	10.1%
多少知っている	76	27.5%
あまり知らない	68	24.6%
全く知らない	98	35.5%
無回答	6	2.2%
合計	276	100%

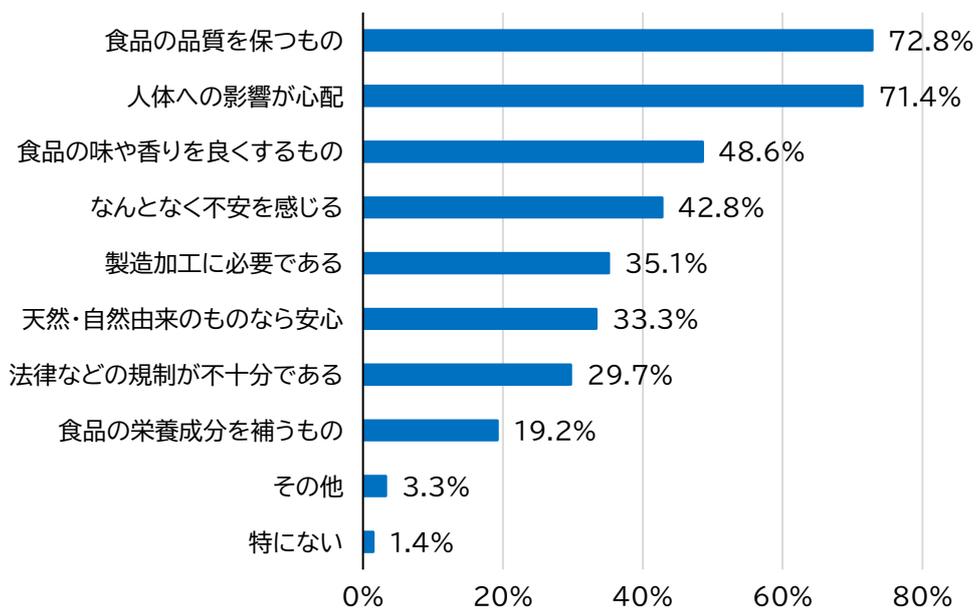


問8 食品の安全性に対する安心または不安について、昨年度と比較して変化があった方にお尋ねします。変化したきっかけや理由等がありましたら、具体的に記入して下さい。

- ・輸入食品が多くなったようで食品の安全性などが気になる。
- ・いろいろな本を読んでいると、真実がわからなくなってくる。
- ・HACCPが作られてはいるが、ニュースを見ていると何も変わっていないような気がする。
- ・県から発信されている資料をいただいて、少し不安の解消になっている。
- ・水道水の汚染が気になった。
- ・検査されているから大丈夫と思っていたが、自身で確かめていないから不安な部分が多くなったように思う。
- ・健康食品に関するものが気になる。
- ・廃棄ロス対策のために値下げしたりすることがあるが、衛生、安全面においてはどうなのか。
- ・孫ができ、娘がすごく気にしているため。
- ・物価が高騰して国産のものより安価な輸入食品を購入せざるをえない生活になってきている。
- ・仕出し弁当などの食中毒。不安に思う。
- ・保健機能食品に対する不安が増した。
- ・産地偽装に対して不安が増している。過去に外国産のわかめやアサリなどを日本産と称して販売されていたので、本当に国産のものなのか疑心暗鬼になる。
- ・食品のパッケージや包装にGAP、GIAHS、特保、HACCP等のマーク表示が増えて安全、安心になってきたと思う。
- ・紅麹入りの他の食品も摂取して大丈夫なのか不安。
- ・アレルギー表示については表示が徹底されるようになったと思う。
- ・マイクロプラスチックの影響は目に見えない。このまま体内でどうなるのか。
- ・食品添加物について、YouTubeを見るとアメリカでは禁止されているが日本では承認されているものが多いとの情報があり心配。

問9 あなたは食品添加物に対して、どのような印象をもっていますか。
(複数回答)

	人数	割合
食品の品質を保つもの	201	72.8%
人体への影響が心配	197	71.4%
食品の味や香りを良くするもの	134	48.6%
なんとなく不安を感じる	118	42.8%
製造加工に必要である	97	35.1%
天然・自然由来のものなら安心	92	33.3%
法律などの規制が不十分である	82	29.7%
食品の栄養成分を補うもの	53	19.2%
その他	9	3.3%
特にない	4	1.4%



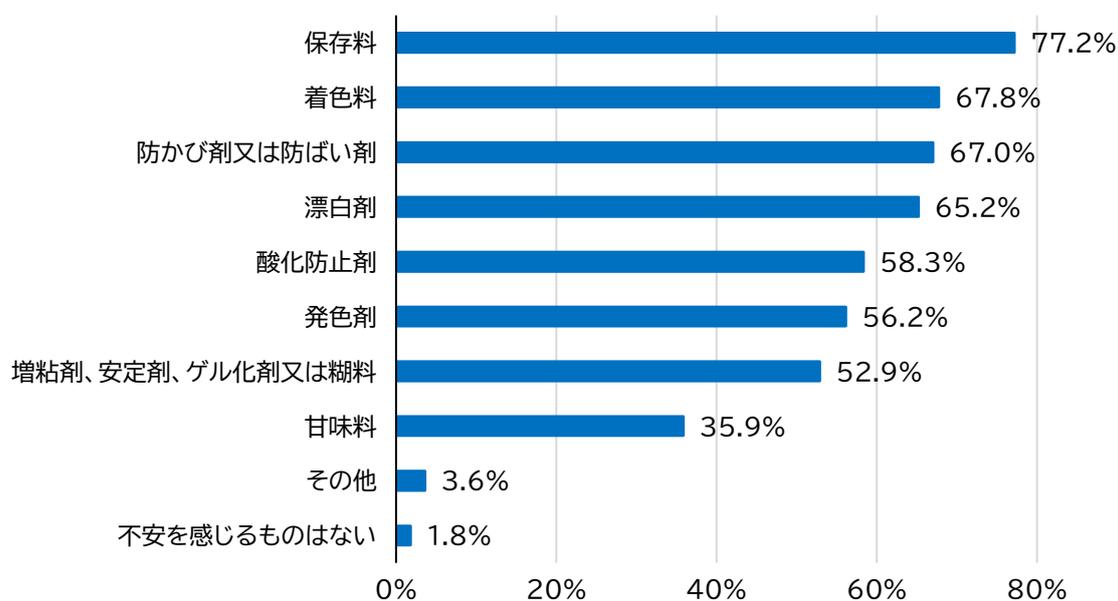
「その他」のうち主なもの

- ・見栄えをよくするのではなく、安全、安心を大切にしてほしい
- ・添加物の定義がよくわからない。

問10 あなたが不安に感じている食品添加物は何ですか。特に気になる物質名があれば記入してください。

(複数回答)

	人数	割合
保存料	213	77.2%
着色料	187	67.8%
防かび剤又は防ばい剤	185	67.0%
漂白剤	180	65.2%
酸化防止剤	161	58.3%
発色剤	155	56.2%
増粘剤、安定剤、ゲル化剤又は糊料	146	52.9%
甘味料	99	35.9%
その他	10	3.6%
不安を感じているものはない	5	1.8%



「その他」のうち主なもの

- ・カラメル色素
- ・海外で禁止されているもの
- ・イーストフード

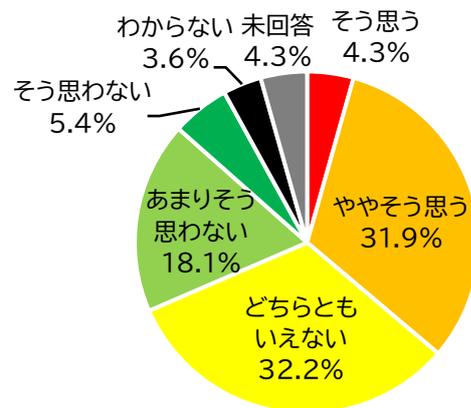
特に気になる物質

- ・臭素酸カリウム、赤色 104、105、デビドロ酢酸ナトリウム、パラオキシ安息香配、イソブチル
- ・コチニール色素、亜硝酸 Na、リン酸塩 Na、カゼイン Na
- ・アスパルテーム、フェニルアラニン化合物、アセスルファム K、スクラロース
- ・トレハロース

- ・亜硝酸 Na
- ・ソルビン酸
- ・アセスルファム K、スクラロース、カラメル色素 I 以外、PH 調整剤
- ・亜硝酸ナトリウム、安息香酸ナトリウム、タール系色素
- ・コチニール、リン酸塩、亜硝酸塩 等

問 1 1 行政機関が行っている施策で食品添加物の安全性を守れていると思いますか。

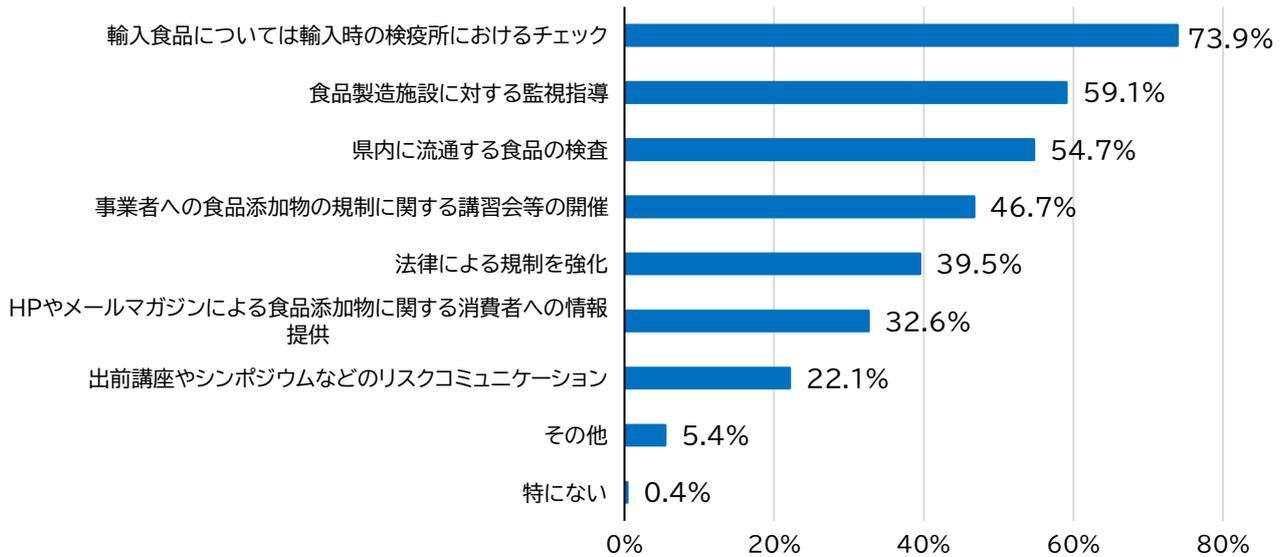
	人数	割合
そう思う	12	4.3%
ややそう思う	88	31.9%
どちらともいえない	89	32.2%
あまりそう思わない	50	18.1%
そう思わない	15	5.4%
わからない	10	3.6%
無回答	12	4.3%
合計	276	100%



問 1 2 食品添加物の安全性を確保するために行政機関が力を入れるべき施策は何だと思いますか。

(複数回答)

	人数	割合
輸入食品については輸入時の検疫所におけるチェック	204	73.9%
食品製造施設に対する監視指導	163	59.1%
県内に流通する食品の検査	151	54.7%
事業者への食品添加物の規制に関する講習会等の開催	129	46.7%
法律による規制を強化	109	39.5%
HP やメールマガジンによる食品添加物に関する消費者への情報提供	90	32.6%
出前講座やシンポジウムなどのリスクコミュニケーション	61	22.1%
その他	15	5.4%
特にない	1	0.4%



「その他」のうち主なもの

- ・香料の規制
- ・輸入に頼らないよう国、県から補助して農民の生活を支える。
- ・食品の抜き打ち検査
- ・製造施設の廃水、廃棄物処理方法のチェック
- ・他国で禁止されているものは使わない。

問 1 3 食品の安全に関する県の施策に対して、意見や感想などございましたら具体的に記入してください。

○リスコミについて

- ・食卓安全ニュース、今の話題なので勉強になる。
- ・情報発信は HP やメールマガジン、出前講座、シンポジウムが必要だが、TV やラジオでの発信により即時に行ってほしい。
- ・食品を安全安心に食べるための保存方法、保管方法をわかりやすく発信してほしい。間違った取り扱いをしているような気もするので、正しく教えてほしい。
- ・地区のイベントなどで注意喚起の呼びかけをしていただけたらと思う。チラシで PR 等はどうか。
- ・いつも少ない人数で検査監視大変だと思っているが、私たち消費者への情報提供をもっと多く、早くなったらよいと思うこともある。
- ・消費者がもっと意識を持つ。事業者とともに講習会で情報を得る機会を増やす。
- ・岐阜県として、食材の安全性やその取り組みをメールや LINE、Facebook など様々な SNS を通じてこれまで以上に情報の発信をしてほしい。
- ・食品の安全に関する地域のオピニオンリーダーである食品安全対策モニターを対象にした研修や情報提供をさらに充実させてほしい。県内での農業生産や農産物の加工・流通

の現場を視察する機会があってもよいのでは。

- ・県でどのような努力をしているかPRをした方がよいのでは。
- ・食品の安全について、県民にわかりやすく知識を広めていけるよう、いろいろな方法でPRしていただきたい。特に、食に関心の薄い若い年代、子育てしている人たちにPRしていただきたい。

○食品添加物について

- ・ほとんどの食品に添加物が使用されていて、とても心配。
- ・大人より、これから生きていく幼児、子供たちのためにも食品添加物の規制を速やかに行ってほしい。
- ・最近、がん患者が2人に1人とか言われている。高齢化及び食品の添加物の影響が大きいと思う。安全な食品を食べられるようご指導を。
- ・海外で許可されていないのに日本では許可されているというものがあると感じている。日本は添加物大国なので、もう少し厳しくしてほしい。添加物の本も出版されているので、企業側ではなく消費者の立場に立って行政は動いてほしい。
- ・賞味期限消費期限等は安心安全を感じるようになったが、食品添加物などはたくさんありすぎて情報が少なく思う。また、輸入食品にもチェックの甘さが不安。
- ・添加物はないほうがよいがそういうわけにもいかないなので、できる限り少なくしてほしい。
- ・日本は他国に比べて規制が甘いと伺っている。安心安全が大事。リスクのある食品添加物は使用してほしくないと思う。
- ・海外でNGの添加物がまだよいというのは早く規制すべき。

○食品表示について

- ・消費期限表示はあるが、米飯や寿司など期限の短いものは製造時間や日付がないかと思う。
- ・消費期限、賞味期限の決め方、基準を一般市民にもわかるように。保存状態、取り扱いにより大きく異なるのにその条件があいまい、規制がない。
- ・最近多種機能が個人化しており、一般の人にも企業が作る食品などができてしまう状態。本物か疑うことはもちろん、私たち消費者にはわからなくなっている。印字を信用するしかない。
- ・表示を見て購入したとして、誤りがあったときに店頭でおわびの表示があつたりしても買わない時には見ないので回収の案内があつてもわからない。表示は訂正することを禁止にするぐらいきびしく法律を作してほしい。
- ・食品表示について、消費者にもっとわかりやすい表示にするべきだと思う。今の表示の仕方は、食べる人のことよりも、生産者の思惑が強い表示だと思う。なぜ消費者ファーストではないのか。

○検査体制について

- ・県内においては食品の安心安全のためのいろいろな監視指導、検査、講習会などされており安心して県内産を利用している。
- ・検査が全体的にできていると思う。安心して食事ができる。
- ・輸入食品については、厳しい検査をお願いしたい。
- ・広範囲にわたり監視するのは大変だと思うが、最初に認可するときに厳しくしてほしい。
- ・食品を製造、加工の施設をどのように監視指導をしているのかわからない。
- ・食品関連企業への国、行政からもっときびしく取り締まりをしてほしい。
- ・抜き打ちでスーパーを調査してほしい。
- ・特に流通している食品の検査を増やしてほしい。その情報が製造会社に伝わればコンプライアンス遵守になるはずである。

○PFASについて

- ・PFAS、PFOSなどが気になる。県としても施策を強化するようにしてほしい。
- ・PFASに対する政策が甘い。
- ・PFASの水質汚染問題については、食の安全を守る観点から長期視点に立って検討を進めてほしい。

○地産地消について

- ・GAPやGIAHSなどのマーク表示やJAグループでの産直、物流、JAブランド支援をしていただけるとよいと思う。
- ・地産地消。生産者には生活できるだけの安定した利益の還元。消費者には安全で毎日の食卓に適正な価格で食品を提供できる仕組みを確立できるとよいと思うが、なかなか難しい。

○健康食品について

- ・サプリメント製品の安全性が心配。
- ・成分の安全性に不安がある。

○その他

- ・安心して食べられる食品を教えてほしい。不安になる情報が多い。
- ・環境の変化が著しいこのころ、以前なら大丈夫だったものが人体にも影響が出ることがあるかもしれないので、変化していくことを教えてほしい。
- ・毎年アンケートが送られてくるが、答えるだけで県の施策がどのように変わったのか報告もない。
- ・毎日食べている食品なので、少しずつ身体にたまっていくと思うと少し不安。乳幼児はこれから長期間摂取していくことになるので、少しでもよいものを食べてほしい。若い子育て中のお母さんの啓発をお願いしたい。
- ・食材として県産品を使ったランチや丼ものがあったら岐阜県の〇〇と覚えてもらえると思う。

- ・事業者の不正があった際には事業者名とその製品等の公表をする。
- ・他の都道府県をリードするような活躍ぶりを見せてほしい。
- ・食育として進められている事業と、食の安全への取り組みの連携は必要かと思う。
- ・各地区に存在する名水（山水や湧き水）は本当に大丈夫なのか。
- ・キッチンカーの移動販売は衛生面、保存面総合的に見て慎重に取り扱う必要性がある。
- ・安全性を確保することは私たちの健康維持につながる。
- ・料理酒や酢を我が家ではよく使用するが、ガラスだった容器がペットボトルに変わり始めたこと。ペットボトルの成分が中身の食料に溶け込まないのか。
- ・安全なものを食す一番は国内産が多くなること。例えば、農業者を増やすよう補助、農業をしたいと思う人を増やし、生活ができるような対策の強化。
- ・県のほうでもいろいろと行っていると思うが、目に見えてわからない部分が多いため、どうなのかと思うこともある。
- ・県職員が何をやっているのかわからない。